

はくあ通信

SOPRA +

発行年月日：平成27年1月15日

住所：伊都陸あつらぎ町佐野793

電話番号：0736-26-7281

発行：NPO 法人よつ葉福祉会ソプラス

第9刊

みんなの「働く」・「暮らす」・「遊ぶ」を応援します！

企業応援団 ~File8~

株式会社 渡辺産業運輸 岩出営業所

(岩出市根来2347-220)

ソプラスの活動にご協力をいただいている企業さんをご紹介する企画の「企業応援団」の第8回。今回ご協力いただいたのは、和歌山市に本社を構える株式会社渡辺産業運輸さんです。

ソプラスから岩出営業所に就職をされてからお付き合いをさせていただいています。今回インタビューにお答えいただいたのは、取締役営業部の松村部長です。渡辺産業運輸さんは、障害者雇用をしていなかったが、

ソプラスの活動にご協力をいただいている企業さんをご紹介する企画の「企業応援団」の第8回。今回ご協力いただいたのは、和歌山市に本社を構える株式会社渡辺産業運輸さんです。

ソプラスから岩出営業所に就職をされてからお付き合いをさせていただいています。今回インタビューにお答えいただいたのは、取締役営業部の松村部長です。渡辺産業運輸さんは、障害者雇用をしていなかったが、

雇用率の関係で雇用していくことがなってきたそうです。障害のある方を雇うする前は、「仕事ができるのかな?」「作業や指示の理解ができるのかな?」と思っておられました。実際に雇用をしてみて、問題なく仕事はでき、一般雇用の人と同じくらいない、とおっしゃっていただいています。対人関係に課題はあるが、「環境に慣れるまでには時間がかかるだろう。慣れれば解決できるのでは。」と広く受け入れていただいています。確かに環境の変化に適應するために時間のかかる人もいます。こういったお気持ちも本人や私たちにとってありがたい配慮の一つです。

今後の障害者雇用の展望についてもお話いただき、「雇用率を達成し継続していけるように会社として取り組んでいきたい。」また、現在雇用している方については、「特定の人との関わりから、多くの人と関わり仕事ができるようにしていきたい」とおっしゃっていただきました。キーパーソンとなる方を専任いただきたい配慮も本人にとっては安心して働ける要因になっています。今後とも良いお付き合いをよろしくお願ひ致します。

発達障害者就労支援 プログラム開発進捗状況

和歌山県内の相談支援事業所や基幹相談支援センター、就業・生活支援センター、障害福祉サービス事業所において、発達障害の診断を受けられた成人や子ども、また発達障害の特性のある人からの相談が年々増加傾向にあることと思います。当法人内でも通所されている発達障害のある利用者は、個々の特性がわかりづらく対応に苦慮することも多くあります。また、日常生活や福祉サービス事業所での通所生活に多くの課題を持ち生活されている人の一般就労や就労定着の支援となると、より高い支援スキルが求められます。

そこで、同じような多くの課題を持たれ、発達障害の人への支援でご活躍されている各地域の関係機関の皆様を構成員としてお力添えを賜り、発達障害者支援センターポラリスと共同で発達障害者就労支援プログラムを作成・開発することになり、平成26年4月よりスタートをしました。

第1回プログラム開発会議を6月17日に開催し、ソプラスの就労支援プログラムの取り組みを構成員の皆様にお伝えし、就労移行支援と自立訓練（生活訓練）の訓練の様子を視察いただきました。視察後にプログラムに対しての意見や助言をいただき、本プログラムを和歌山県内に普及していくための話し合いを行いました。

第2回は9月16日に開催し、自立訓練（生活訓練）の視察後、会議を行いました。プログラムについての意見や質問から始まり、相談支援事業所と就業・生活支援センターから福祉サービス事業所に期待する役割、地域の機関に必要なもの、地域に不足している社会資源について協議を行いました。就職（定着）するために身につけておくべきスキルや就労移行支援事業所が利用者に支援しておくべき支援、インテークやアセスメント技術等、具体的な内容が話し合われました。

第3回も同様に、自立訓練（生活訓練）の視察と検討会を12月16日に開催しました。今回はアセスメントツールについての議題から入り、社会適応度を測るための評価尺度を用いることで一定の方向性が出ました。第2回よりさらに具体的に、外部機関から講師を招くこと、初対面の人との対人スキルトレーニング、作業の個別化、消費者トラブル、性衝動について等、次年度のプログラム作成に向けた意見、助言をいただきました。また、社会での実践力や客観視する力をどう補うのか、自己理解の促し方、失敗から成功体験へどう導くのか等、基本でありながら高いスキルの必要なあり方を確認し、次の開発会議までに検討・実施することになりました。

今後も3ヶ月に1度本会議を開催し、プログラムの開発・改善、県内への普及方法について検討していきます。本プログラム開発会議の経過状況について、本誌で随時ご紹介をしていきます。

〈発達障害者就労支援プログラム開発構成員〉

田辺市障害児・者相談支援センターゆめふる いたば福社会
紀南障害者就業・生活支援センター あすなる共同作業所
岩出障害児者相談・生活支援センター 伊都障がい者就業・生活支援センター
つわぶき会 和歌山県障害福祉課 発達障害者支援センターポラリス

(井端)

2名の方が就職をしました！おめでとう！

1年3ヶ月の訓練期間を経て、10月1日付で岩出市にある「株式会社渡辺産業運輸 岩出営業所」に1名就職をされました。業務内容は、ピッキング作業・商品の補充業務を担当しています。

もう1名は、1年11ヶ月の訓練期間を経て、12月1日付で奈良県五條市にある「三寿福社会 友幸苑」に就職をしました。業務内容は、介護老人福祉施設での介護補助業務を担当しています。

どちらもジョブコーチ制度を活用し、定着支援を行っています。働き続けるためのスタート地点。これからも一緒に頑張りたいです。